



会長挨拶

令和4年度が始まって1か月が経ちますが、皆さん、如何お過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスが我々を襲って3年目になります。施設に働く我々にとって「オミクロン株」も「デルタ株」も恐ろしさは変わりませんでした。多くの施設でクラスターが発生しました。学校、病院など単に私たちの「施設」に止まることはありませんでした。集団での生活、活動をする我々の業務にとってクラスターの発生はやむをえないことであったように思います。高齢者向けの3回目のワクチンの接種が進んでいます。若年層に向けてのワクチン接種も積極的に行われており、まんえん防止措置の期間が終了しました。しかし、油断は禁物です。手指の消毒・マスク着用、換気と3密の回避など基本的な対策は引き続き継続することが必要です。くれぐれも油断なくお過ごしください。

さて、今号では共助会の令和4年度の予算についてお知らせします。共助会は、今年度2万2,200人の加入者と年間予算約30億円の規模でスタートとしました。この数年間、加入者も財政規模も右肩上がりの成長を続けています。今後共助会がどこまで成長していくのかわかりませんが、皆さんの将来をお預かりしている共助会として健全な経営を続けて加入者の皆さんに安心していただけるようにこれからも頑張っていきたいと思います。

また、お預かりしている掛金を毀損しないように運用していくことは共助会の最重要な業務であり、加入者の皆さんの最も期待することであると思います。これまでの資金運用は順調に推移していたのですが、2月から始まったロシアのウクライナ侵攻によって世界情勢が一度に不安定になってしまいました。海外で多額な投資を重ねている共助会は今回のような事態に大きく影響されることとなります。国内だけで運用が出来ればよいのですが、日銀の低金利政策がそれを許しません。ではどうすればよいのか。現在のところ我々の考えは、ポートフォリオに基づいた分散投資を推進することです。今何が正解なのかを求めることが困難ならば、リスクを分散して大きな利益を追うのではなく、安定的な運用を心掛けていくことが必要だろうと考えています。

退職金給付という地味な仕事ですが社会福祉を支えるインフラの一つとして、与えられた大切な役割をしっかりと果たしていきたいと思っています。



共助会会長 **井上 峰夫**

4月1日からリニューアル!

～生活資金貸付事業が変わりました。～

1. 貸付限度額 **上限200万円** (退職一時金の範囲内)
2. 返済方法 **給与天引き** (施設口座振替)
3. 申込受付サイクル **月1回** (10日受付、25日実行)
4. 延滞利息 **年利3%**
5. 延滞6ヶ月間後の対応 **契約解除**
6. 資金使途 **借入金・ローン返済の為の借入れは不可**

詳しくは共助会ホームページ、共助会ニュースNo.101 (前号) をご覧下さい。



皆様からの声をお待ちしています!

～会員交流事業について (企画募集)～

今もコロナ禍が続いており、共助会から皆様方に会員交流事業の企画をご提供することが難しくなっています。

皆様方からも企画を募集しますので、遠慮なく共助会にお声掛け下さい。



令和4年度事業計画ならびに予算

▶▶ 令和4年度事業計画 <重点事項>

1. 資産運用

共助会は長年の宿願であった充足率（資産の時価評価額を全会員が退職すると仮定した場合の必要額で除したもの）100%を昨年6月に初めて達成しました。しかし、資産価値は常に上下しているため、皆様方からお預かりした掛金を安定的に運用して将来の支払いに備え、油断することなく慎重な資産運用に努めてまいります。

2. 生活資金貸付事業

昨年度は返済方法や貸付限度額など償還方法の見直しを行いました。今年度は貸付金の返済が滞りなく行われるよう努力してまいります。



3. システム改修の準備

パソコンソフト全体の見直しを検討しています。また、事務のデジタル化を進めるため、第一歩として月額算定をUSBでご提出いただくことになりました。



4. 研修事業及び会員交流事業

共助会事業へのご理解を深めていただく場として研修会の開催を予定しておりましたが、コロナ禍により自粛しています。また、皆様方にご期待いただいております会員交流事業企画につきましてもなかなか案内できない状況が続いています。共助会の理解に役立つ印刷物の配布や、密にならないイベントを企画するなど工夫していきたいと考えています。

公益目的事業

福祉に係る法人活動の促進と充実を図るための事業です。

1. 掛金収益見込 2,805,000,000円

加入者総数 22,200名
平均掛金額(1人当たり1ヶ月) 10,530円

2. 退職共済金の給付見込 2,093,700,000円

退職一時金(1人当たり平均) 997,000円
退職者数 2,100名

3. 退職年金の給付見込 13名 7,661,000円

4. 生活資金の貸付見込 50,000,000円

平均貸付額 1,000,000円
貸付件数 50件

5. 福利厚生事業の利用契約等

プール、レジャー、スパリゾート施設との契約を更新します。

6. 機関紙「共助会ニュース」の発行

3回発行を予定、各25,000部
ホームページと併せて、情報の共有と定着につながるよう発信していきます。

7. 研修事業の実施(従事者のスキルアップを目標とします。)

コロナ禍のため、実施方法を検討のうえ計画します。

8. 関東ブロック民間社会福祉従事者共済制度情報連絡会の開催

静岡県が開催当番県として実施の予定

▶▶ 令和4年度 収支予算書総括表 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

【収入の部】

(単位:千円)

科 目	公益目的	会員相互	法 人	合 計
基本財産運用益	0			0
特定資産運用益	3,000		3,735	6,735
共済事業収益	2,875,073	33,660	11,220	2,919,953
貸付金利子収益	2,410			2,410
業務委託収益	2,000			2,000
交流事業収益	12,000			12,000
退職共済引当金戻入益	83,500			83,500
雑収益	50			50
当期収入合計	2,978,033	33,660	14,955	3,026,648

【支出の部】

(単位:千円)

科 目	公益目的	会員相互	法 人	合 計
退職共済事業費	2,101,361			2,101,361
慶弔金事業費		16,800		16,800
長期在籍会員顕彰事業費		11,970		11,970
広報普及事業費	6,365			6,365
研修事業費	2,000			2,000
福利厚生事業費	13,700			13,700
退職共済事業引当金繰入	708,787			708,787
管理費	114,225	2,015	49,425	165,665
当期支出合計	2,946,438	30,785	49,425	3,026,648
当期収支差額	31,595	2,875	△34,470	0

会員相互扶助等事業

慶弔・災害見舞金の支給や永年社会福祉事業に貢献したことを顕彰し、その労苦に報いるための制度です。

1. 慶弔金等の給付見込

- | | |
|-----------------------|-------------|
| (1) 慶祝金(結婚) 500件 | 10,000,000円 |
| (2) 慶祝金(出産) 600件 | 6,000,000円 |
| (3) 弔慰金 14件 | 700,000円 |
| ※加入者本人が亡くなったとき | |
| (4) 災害見舞金 | 最低限を見込みます |
| ※火災により加入者所有の建物が被災したとき | |



2. 長期在籍者顕彰事業の実施

掛金納付期間が25年を迎える方201名を対象とし、顕彰式を開催する予定です。
(顕彰状の授与ならびに記念品の贈呈)

法人事業

総会等の各種会議の開催、共助会事務局運営全般のことです。

1. 総会の開催 2回

- 総会…事業報告・収支決算書について審議します。
- 臨時総会…収支補正予算書、事業計画・収支予算書について審議します。

2. 理事会の開催4回を予定

3. 監事会監査の開催 2回

(決算監査、中間監査を各1回)

4. 会計監査人による外部監査

5. 諸委員会の開催 6回を予定



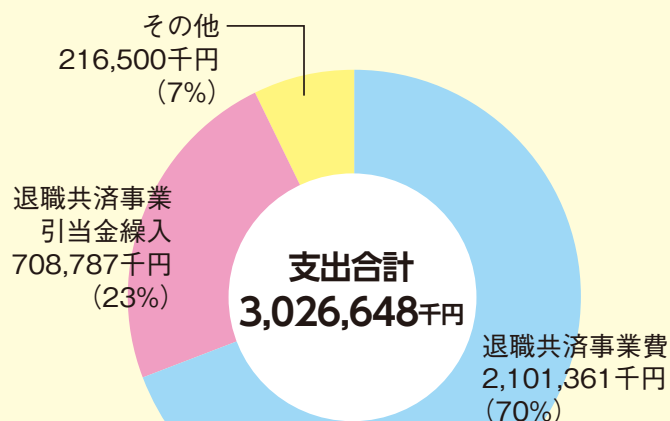
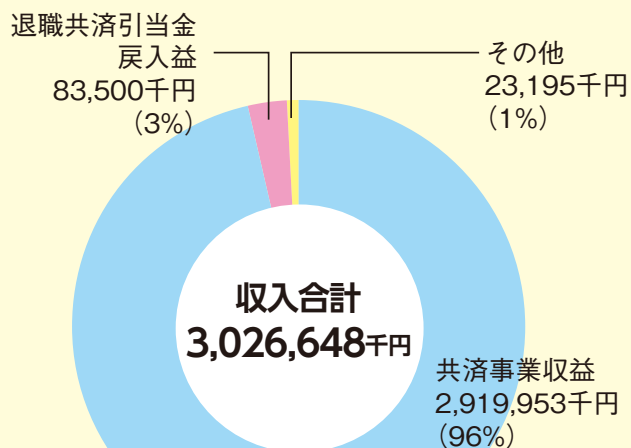
その他

<資金調達の見込み>

当該年度中における資金調達の予定はありません

<設備投資の見込み>

- 無形固定資産ソフトウェア
(退職共済システムの改修) 4,000,000円
- 有形固定資産(移転に伴う備品の購入) 7,000,000円



令和3年度長期在籍会員顕彰者名簿

令和3年度長期在籍会員顕彰式は、オミクロン株感染拡大を防止するため政府より「まん延防止等重点措置」が発出されておりましたので、開催を中止しました。

顕彰者の方々には、事務局から顕彰状並びに記念品をお送りしました。今後も皆様方の健康と益々のご活躍を期待しております。

和田 順子	チューリップ保育園
小島 基江	つくし保育園
田中 眞帆	東茂原保育園
岩崎千佳子	マリヤこども園
磯田 恵子	認定こども園 柏鳳保育園
百石由美子	和光保育園
三澤 直子	四街道保育園
長谷川祐美	白井保育園
仲 香織	山倉保育園
高松 明美	府馬保育園
鷺ノ澤成子	光町保育園
大橋 富恵	横芝光町白浜保育園
廣瀬 育美	栄保育園
吉野 知子	愛光保育園
淵辺 千里	こどもの森
庄司 敏江	こどもの森
森田 雄司	聖愛乳児園
高嶋 伸吾	けいよう
川名 美幸	ひかりの子学園
木川 雅央	不二学園
及川 拓生	香取学園
荻原 洋子	子山ホーム
向後まゆみ	一宮学園
中田 孝明	千葉県社会福祉協議会
高安 直仁	成田市社会福祉協議会
前田友美子	八千代市社会福祉協議会
安原 滋克	八千代市社会福祉協議会
諏訪 雅也	八千代市社会福祉協議会
蜂谷 賢一	八千代市社会福祉協議会
斎藤 和枝	八千代市社会福祉協議会
渡邊 裕之	酒々井町社会福祉協議会
秋本 紀子	白井市社会福祉協議会
池口 典子	印西市社会福祉協議会
糸房真由美	大網白里市社会福祉協議会
後藤 康成	特別養護老人ホーム一倫荘
青山 裕美	特別養護老人ホーム長寿園

佐藤美栄子	特別養護老人ホームさくら苑
作佐部信子	養護老人ホーム瑞穂園
大木 栄子	養護老人ホーム瑞穂園
林 節子	特別養護老人ホーム太陽の家
田中真由美	軽費老人ホーム湊泉荘
山田 千代	特別養護老人ホームグリーン・ヒル
菊地 視典	特別養護老人ホームグリーン・ヒル
福元 香織	特別養護老人ホームグリーン・ヒル
菊地 恵美	特別養護老人ホームグリーン・ヒル
京増 理絵	特別養護老人ホームあさひ園
石田 誠	恵天堂特別養護老人ホーム
野口 陽子	恵天堂特別養護老人ホーム
小川 圭子	特別養護老人ホーム北総長寿苑
門脇 有紀	特別養護老人ホーム袖ヶ浦菜の花苑
高原 綾子	特別養護老人ホーム玲光苑
鈴木 裕一	小池更生園
五十嵐妃美子	社会福祉法人愛の友協会
小石 晃正	さくら千手園
田中 吾郎	もくせい園
小玉 将司	もくせい園
佐瀬 倫子	もくせい園
舘山 聡	社会福祉法人菜の花会
近藤 美貴	社会福祉法人愛光
白瀧 薫	社会福祉法人清輝会
土屋 貢	社会福祉法人清輝会
上田 律朗	特別養護老人ホーム美香苑
松丸 慎司	社会福祉法人慶美会
小山 貴史	社会福祉法人慶美会
谷口 功一	特別養護老人ホームあすみの丘
有江 直樹	特別養護老人ホームつつじ苑
臼田 真弓	日向保育園
永山真由美	社会福祉法人栄興会
岩並 里佳	障害者支援施設しあわせの里
篠崎比呂志	障害者支援施設しあわせの里
井上 絵美	特別養護老人ホームマーシイヒル
清水 隼人	特別養護老人ホームマーシイヒル

浅見 幸子	ひかり学園
鈴木 紀昭	鴨川市社会福祉協議会
小林 育子	特別養護老人ホームシルバーガーデン
原 順子	長南町社会福祉協議会
鈴木 光一	特別養護老人ホーム九十九荘
大木 彰寛	障害者支援施設聖マーガレットホーム
山本正一郎	市川市社会福祉協議会
力根 秀樹	特別養護老人ホーム水都苑
近藤 大介	中里ワークホーム
渡辺 幸子	介護老人保健施設たいよう
村尾 薫	デイサービスセンターしらぎく園
光同寺弓子	特別養護老人ホーム中郷記念館
福田 浩司	ふなばし工房
蓑田 良隆	特別養護老人ホーム南花園
塚田 光子	特別養護老人ホーム愛生苑
河野 和子	特別養護老人ホーム習志野偕生園
中濱 大介	特別養護老人ホーム習志野偕生園
井田 郁子	介護老人保健施設カトレアンホーム
川名 寛子	介護老人保健施設カトレアンホーム
高梨 美紀	介護老人保健施設カトレアンホーム
寺嶋 幸代	第2ひかり学園
福田 崇	第2ひかり学園
高橋 俊洋	特別養護老人ホーム一宮苑
前田美奈子	特別養護老人ホーム一宮苑
木島美和子	特別養護老人ホーム光風荘
桑原ゆき子	特別養護老人ホーム光風荘
荒木 真美	特別養護老人ホーム光風荘
櫻井 雅之	ケアハウス 辰巳彩風苑
河野 牧子	子すずめ保育園
植田 尚子	子すずめ保育園
松田 天子	子すずめ保育園
木村 京子	子すずめ保育園
佐藤 純子	特別養護老人ホームソレイユ千葉北
瀬戸口喜三	特別養護老人ホームソレイユ千葉北
畑 毅俊	特別養護老人ホームソレイユ千葉北
長澤三佐子	特別養護老人ホーム第二松丘園
伊藤まゆみ	特別養護老人ホーム第二松丘園
高橋 淳也	特別養護老人ホーム第二松丘園
藤木 仁美	第2いぶきの広場
本多 博幸	上総ゆうゆうの郷

増田 浩文	やまぶき園
呉服 裕一	特別養護老人ホーム第2ワールドナーシングホーム
志村 仁	らんまん
菅生和佳子	十倉厚生園
原 志麻	十倉厚生園
加藤 寿美	特別養護老人ホームローゼンヴィラ藤原
本澤 正和	ディアフレンズ美浜
蔵 静江	特別養護老人ホームマーガレットヒル
大久保貴弘	光風みどり園
磯野 孝夫	いすみ市社会福祉協議会
石井 友美	南房総市社会福祉協議会
荒原 寛治	いちばら福祉ネット
矢田部幸枝	山武市社会福祉協議会
佐久間大輔	中核地域生活支援センターひだまり
笠木 崇	いぶき療護苑
西尾 建	社会福祉法人ミッドナイトミッションのぞみ会
小嶋 友子	社会福祉法人ミッドナイトミッションのぞみ会
高橋 堂太	特別養護老人ホームみはま苑
古関 毅	ジョイサポート三和
伊藤 浩	特別養護老人ホーム瑞穂園
塚本 安亮	特別養護老人ホーム第二南花園
池田 和	社会福祉法人コザリオの聖母会
熱田 恵美	社会福祉法人コザリオの聖母会
梅村 ひとみ	社会福祉法人コザリオの聖母会
英 一馬	社会福祉法人コザリオの聖母会
荒井 隆一	社会福祉法人コザリオの聖母会
池谷 勝之	障害児通所支援事業所
筋野 進	みどり園
佐久間久美子	認定こども園 さとの保育園
平野 秀子	五香子すずめ保育園
宮尾 京子	北の杜保育園
庄司 準	やすらぎの里・尾車
森川 智庸	やすらぎの里・尾車
杉村 利之	ワークス館山
横溝 征毅	おおはし園
津島 敬子	ブレーメン実花こども園
林 博樹	ふる里学舎 おゆみ野
富岡 将訓	ふる里学舎 蔵波青年寮
伊東伸之輔	ふる里学舎 蔵波デイセンター 生活介護

福利厚生

ソウェルクラブをご存知ですか？

ソウェルクラブ(Sowel Club)とは、Social(社会)とWelfare(福祉)の頭文字をとって名付けられた福利厚生センターの愛称です。

ソウェルクラブは、社会福祉の職場を魅力あるものとするために福祉関係者の強い要望を踏まえ、社会福祉事業に従事する方々の福利厚生の増進を図ることを目的に設立されました。

福利厚生の充実は、従事者が職場で安心して働くことの手助けとなり、サービス向上に大きな役割を果たすものと考えます。以下、福利厚生サービスの一例をご紹介します。



職員の健康のために

◆健診費用助成

30歳以上の会員が生活習慣病予防健診等を受診した場合に、検査項目に応じて助成します。

【生活習慣病予防健診】

最大4,000円
の補助！

【乳・子宮がん検診】

最大800円の補助



◆健康生活用品給付

毎年、全会員に健康生活に関わる品物の中から希望する1品をお届けします。

全40品

職員の資質向上のために

◆オンライン講習 (コロナ禍のため)

【メンタルヘルス講習会】

【接遇講習会】

【ハラスメント防止講習会】



受講料、教材費は無料

職員のリフレッシュのために

◆会員交流事業

職員間の交流促進や非日常の世界に触れることでの心身のリフレッシュを目的としています。

職員の仕事へのモチベーションUPに効果的です。

例) 大相撲観戦、劇団四季の舞台鑑賞など



その他にも沢山のサービスをご用意しています。詳細はソウェルクラブホームページをご覧ください。
ソウェルクラブへの加入ご検討をよろしくお願いいたします。



ご連絡、
お待ちしております



年会費 (お1人様あたり)

第1種会員 10,000円 全てのサービスが利用可能

第2種会員 5,000円 非常勤職員のみ加入可

一部のサービスのみ利用可

加入のお申し込み・福利厚生に関するご相談は

☎ 0120-292-711

社会福祉法人 福利厚生センター まで

資産運用報告

令和4年2月末現在 資産運用状況

(単位:円)

資産	取得価額	時価	評価損益
国内債券	3,374,473,762	3,627,229,040	252,755,278
国内株式	129,458,124	250,751,295	121,293,171
外国債券	13,015,747,900	13,486,547,672	470,799,772
外国株式	0	0	0
オルタナティブ	3,045,340,243	3,296,936,354	251,596,111
その他	5,702,878,879	5,702,520,056	△358,823
資産合計	25,267,898,908	26,363,984,417	1,096,085,509

時価総額 26,363,984,417
要支給額 26,719,247,790

充足率 = $\frac{\text{運用資産の時価総額}}{\text{要支給額}}$

98%

令和3年度、共助会の資産運用は極めて順調でした、ロシアがウクライナに侵攻するまでは。今回、2月末の資産運用の状況をお知らせしていますが、殆ど1年間積み上げてきたものが帳消しになってしまったような状況です。

共助会は加入者の皆さんから掛け金をお預かりして、将来の支払いに備えて保有する資産を注意深く運用して来ましたが、令和3年9月には本紙に充足率100%を達成したことをお知らせしたばかりでした。それが理不尽なロシアのウクライナ侵攻によって世界の経済情勢がいつぱんに不安定な状態に落ち込んでしまいました。世界中の株価が下落しました。幸い共助会は従前から分散投資を心掛けてきました。ウクライナ侵攻の直前に保有資産の内一番利益率の高かった海外株式を売却して利益確定を図り、売却益を得ました。大けがには至りませんでした、本当に半年先に何が起こるのかは誰にもわからないということを実感した出来事でした。

しかし、なげいてばかりもいられません。今後の再投資のための勉強を開始しました。共助会は利益確定で得た資金を再投資して資産運用を続けます。損を取り返すのではなく、堅実な安定的な運用により資金を毀損することのないように心がけて参ります。